

一生に一度、必ず見ておきたいクリスタルガラスのクリスマスツリー
「ラ・コッピア」が今年も登場します

箱根ガラスの森美術館は、ひと足早くクリスマスの雰囲気を楽しんでいただきたいと、11月1日(月)より、庭園にてクリスタルガラスのクリスマスツリー「ラ・コッピア」を展示いたします。

■「クリスタルラブツリー ～ラ・コッピア～」* *「ラ・コッピア」はイタリア語で「カップル」という意味です。

庭園中央には、gooランキング「一生に一度、必ず見ておきたい」と思うクリスマスツリーランキングで第2位に選ばれたクリスタルガラスのクリスマスツリー大小2本が展示されます。2本のクリスマスツリーはカップルをイメージしており、大きなツリーは「ロミオ」、小さなツリーは「ジュリエット」と名付けられています。箱根・大涌谷の雄大な自然を背景に、合計15万粒のクリスタルガラスが昼間は太陽の光と風を浴びて色鮮やかな七色に輝き、夕方はライトアップされて幻想的にきらめきます。時間とともに刻一刻と変化する、世界にひとつだけのクリスマスツリー「ラ・コッピア」の輝きをお楽しみください。



クリスマスツリー「ラ・コッピア」
展示期間：11月1日(月)～12月25日(土)
 クリスタルガラスの粒数：
 大(ロミオ) 約8万5千粒 高さ：11m
 小(ジュリエット) 約6万5千粒 高さ：8m

▲昼間は太陽と風で七色に、夕方はライトアップで幻想的に輝くツリー

■幸せを呼ぶ「ふくろうのサンタクロース」のカップルを探そう！

クリスタルガラスのクリスマスツリーのどこかには、幸せを呼ぶ「ふくろうのサンタクロース」のカップルが隠れています。「ふくろう」は西洋では「知恵」の象徴であり、日本では「不・苦勞(＝苦勞しない)」と読めるため、たいへん縁起の良い鳥として知られています。クリスマスには箱根ガラスの森美術館で、幸せを呼ぶ「ふくろうのサンタクロース」を探して、ハッピークリスマスをお過ごしください。



▲女の子(右)は胸におしゃれなアクセサリをつけています

2021年12月1日よりクリスマス企画展 開幕

予告

「ヴェネチアン・グラスで巡るクリスマス
～クリスマスに込められた感謝の祈り～」展

イタリアのクリスマスは家族と過ごす特別な日です。そこには、キリストや共に過ごす家族、聖ニコラウスなど聖人への「感謝の祈り」が込められています。本展では、イエス・キリストの生誕場面を表したガラス人形「プレゼピオ」、クリスマスのモチーフや飾りが表現されたヴェネチアン・グラスを通して、イタリアのクリスマスをご紹介します。



▲キリスト生誕シリーズ「プレゼピオ」(20世紀)



▲「松笠形ランプ」(17世紀)

会 期：12月1日(水)～12月26日(日)
 会 場：ヴェネチアン・グラス美術館

※箱根ガラスの森美術館はお客様と従業員の安心安全を第一に、新型コロナウイルス感染症対策を実施しています。詳しくはホームページよりご覧ください。

(右のQRコードからもご覧いただけます▶)



当館の新型コロナウイルス感染症対策について